

別紙 1)

平成 14 年 3 月期中間連結決算について

平成 13 年 11 月 16 日
東海旅客鉄道株式会社

(単位未満端数切捨)

1 経営成績の概要

- (1) 当中間期は景気の減速が懸念される状況が続くなか、東海道新幹線の輸送量が前期を上回ったことに加え、タワーズ事業が 2 年目においても好調に推移した結果、営業収益は前期比 150 億円(2.3%)増加して 6,770 億円となりました。

これを、セグメント別に見ると以下のようになります。

〔運輸業〕

運輸業においては、東海道新幹線の輸送量が前期比 2.3%増加したことから、営業収益は 103 億円(1.9%)増加して 5,612 億円となりました。

〔流通業〕

流通業においては、ジェイアール名古屋タカシマヤが開業 2 年目も引き続き好調に推移したことなどにより、営業収益は 37 億円(4.6%)増加して 851 億円となりました。

〔不動産業〕

不動産業においては、JRセントラルタワーズにおけるオフィス賃貸事業をはじめ不動産賃貸を中心に収益確保に努めたことにより、営業収益は 2 億円(0.9%)増加して 254 億円となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業においては、名古屋マリOTTアソシアホテルが開業 2 年目においても、宿泊、宴会等各部門で予想を上回るご利用をいただいたことなどにより、営業収益は 39 億円(8.9%)増加して 485 億円となりました。

営業費用については、前期に退職給付に係る会計基準変更時差異 208 億円を一括費用処理したことなどから前期比 107 億円減少しました。この結果、営業利益は前期比 257 億円(14.5%)増加して 2,039 億円となりました。

- (2) 営業外損益においては、従来から進めてきた長期債務の縮減により利払いが減少した一方、当期においても債務の早期弁済を実施したことから、経常利益は 175 億円(32.9%)増加の 706 億円となりました。さらに中間純利益については、日本テレコム株式の売却や資産の流動化手法を活用した社宅の譲渡など特別損益の計上により、前期比 201 億円(65.1%)増加して 511 億円となりました。

- (3) 以上のように、当中間期においては増収増益の決算となりました。

2 財政状態の概要

- (1) 資産の部については、前期末に比べ 725 億円減少し、5兆 8,467 億円となりました。
- (2) 長期債務については、日本テレコム株式の売却収入等を活用して 1,232 億円縮減した結果、当中間期末残高は 4兆 5,870 億円となりました。
- (3) 資本の部については中間純利益の計上により連結剰余金が増加したこと及びその他有価証券を時価評価したことに伴い 1529 億円増加し、6,795 億円となりました。
- なお、自己資本比率は 1ポイント改善し、11.6%となりました。

3 当期の業績予想

平成 14 年 3 月期の業績予想は、営業収益 1兆 3,427 億円(前期比 0.7%増)、経常利益 755 億円(同 4.3%増)、当期純利益 473 億円(同 10.7%減)を見込んでおります。

〔別紙2〕

旅客輸送人キロおよび旅客運輸収入の比較（JR東海）

（単位：百万人キロ、億円）

			平成12年度 中間期	平成13年度 中間期	前年度比(%)	
旅客輸 送人 キロ	新 幹 線	定期	537	545	101.6	
		定期外	19,340	19,797	102.4	
		合計	19,877	20,342	102.3	
	在 来 線	定期	2,638	2,638	100.0	
		定期外	2,004	1,978	98.7	
		合計	4,642	4,615	99.4	
	合 計	定期	3,175	3,183	100.3	
		定期外	21,344	21,774	102.0	
		合計	24,518	24,957	101.8	
旅客運 輸 収 入	旅 客 運 賃 ・ 料 金	新 幹 線	定期	64	65	101.5
			定期外	4,580	4,688	102.4
			合計	4,645	4,754	102.4
	在 来 線	定期	163	163	100.2	
		定期外	391	383	98.1	
		合計	554	547	98.7	
	合 計	定期	228	229	100.6	
		定期外	4,971	5,072	102.0	
		合計	5,199	5,302	102.0	
	小荷物運賃・料金			0	0	-
合計			5,200	5,302	102.0	

（注）1．旅客輸送人キロは単位未満端数四捨五入

2．旅客運輸収入は単位未満端数切捨

平成13年度中間 タワーズ3社 営業成績の比較

（単位：億円）

		平成12年度 中間期	平成13年度 中間期	増減
営 業 収 益	百貨店	307	333	26
	ビル	104	105	0
	ホテル	84	99	14
	合計	495	537	42
経 常 利 益	百貨店	1	13	12
	ビル	4	4	0
	ホテル	3	0	2
	合計	8	18	10

（注）単位未満端数切捨

比較中間損益計算書【連結】

(単位: 億円)

科 目	平成12年度 中 間	平成13年度 中 間	増 減	対前期比 (%)
営 業 収 益	[1.200] 6,620	[1.205] 6,770	150	102.3
営 業 費 用	4,838	4,731	107	97.8
営 業 利 益	[1.025] 1,781	[1.033] 2,039	257	114.5
営 業 外 損 益	1,249	1,332	82	106.6
営 業 外 収 益	18	17	0	96.7
営 業 外 費 用	1,267	1,349	82	106.5
経 常 利 益	[1.036] 531	[1.070] 706	175	132.9
特 別 損 益	0	217	218	-
特 別 利 益	8	534	525	6,203.9
特 別 損 失	9	316	307	3,494.0
税金等調整前中間純利益	531	924	393	174.1
法人税、住民税及び事業税	360	488	128	135.6
法人税等調整額	136	82	53	60.9
少数株主損失	2	-	2	0.0
少数株主利益	-	7	7	-
中 間 純 利 益	[1.032] 309	[1.043] 511	201	165.1

(注) 単位未満端数切捨、[]内は連単倍率

セグメント別の営業損益

(単位: 億円)

科 目	セグメント	平成12年度 中 間	平成13年度 中 間	増 減	対前期比 (%)
営 業 収 益	運 輸 業	5,508	5,612	103	101.9
	流 通 業	813	851	37	104.6
	不 動 産 業	251	254	2	100.9
	そ の 他 の 事 業	446	485	39	108.9
	計	7,020	7,203	183	102.6
営 業 利 益	運 輸 業	1,719	1,959	239	113.9
	流 通 業	9	21	11	213.3
	不 動 産 業	51	52	1	102.9
	そ の 他 の 事 業	1	6	5	576.3
	計	1,782	2,040	258	114.5

(注) 単位未満端数切捨

なお、セグメント別金額の合計は、連結財務諸表の数値とは一致しません。

別紙4)

比較中間貸借対照表【連結】

(単位:億円)

科 目	平成13年 3月末	平成13年 9月末	増 減
流 動 資 産	2,239	2,615	376
[うち現金同等物]	1,291	1,610	318
固 定 資 産	56,953	55,852	1,101
有形固定資産	54,505	53,443	1,062
無形固定資産	311	303	8
投資その他の資産	2,136	2,105	30
資 産 合 計	59,192	58,467	725
流 動 負 債	4,827	4,760	66
固 定 負 債	48,020	46,817	1,203
負 債 合 計	52,848	51,577	1,270
[うち長期債務]	47,102	45,870	1,232
[うち単体長期債務]	45,608	44,397	1,210
少 数 株 主 持 分	78	93	15
資 本 合 計	6,266	6,795	529
[うち有価証券評価差額金]	-	76	76
負債、少数株主持分及び資本合計	59,192	58,467	725

(注)単位未満端数切捨

比較中間キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:億円)

科 目	平成12年度 中 間	平成13年度 中 間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,738	1,660	78
税金等調整前中間純利益	531	924	393
減価償却費	1,081	1,082	1
その他	126	347	473
投資活動によるキャッシュ・フロー	877	86	963
有形固定資産の取得による支出	893	668	224
投資有価証券の売却による収入	-	635	635
資産流動化に伴う譲渡収入	-	105	105
その他	15	14	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	673	1,429	756
長期借入による収入	20	8	12
長期債務の返済による支出	670	1,249	578
その他	23	187	164
現金及び現金同等物の増減額	187	317	129

(注)単位未満端数切捨

別紙5)

当期の業績予想【連結】

(単位:億円)

科 目	平成12年度 期末 (実績)	平成13年度 期末 (予想)	増 減	対前期比 (%)
営 業 収 益	[1.207] 13,332	[1.212] 13,427	94	100.7
運 輸 業	11,035	11,072	36	100.3
流 通 業	1,633	1,689	55	103.4
不 動 産 業	499	503	3	100.7
そ の 他 の 事 業	1,107	1,126	18	101.7
営 業 費 用	9,973	9,943	30	99.7
営 業 利 益	[1.035] 3,359	[1.030] 3,484	124	103.7
運 輸 業	3,210	3,347	136	104.2
流 通 業	25	33	7	131.1
不 動 産 業	100	101	0	100.4
そ の 他 の 事 業	32	16	16	48.9
経 常 利 益	723	755	31	104.3
当 期 純 利 益	[1.035] 529	[1.068] 473	56	89.3

(注)単位未満端数切捨、[]内は連単倍率

なお、セグメント別金額の合計は、営業収益・営業利益の金額とは一致しません。

タワーズ3社 当期の業績予想

(単位:億円)

科 目	平成12年度 期末 (実績)	平成13年度 期末 (予想)	増 減	対前期比 (%)	
営 業 収 益	百貨店	618	660	41	106.8
	ビル	207	205	2	99.0
	ホテル	195	196	1	100.6
	合計	1,020	1,061	40	104.0
経 常 利 益	百貨店	7	18	10	232.9
	ビル	5	3	2	59.5
	ホテル	9	2	11	-
	合計	23	19	3	83.5

別紙 6]

比較中間損益計算書【単体】

(単位:億円)

科 目	平成12年度 中 間 間	平成13年度 中 間 間	増 減	対前期比 (%)
営 業 収 益	5,516	5,616	100	101.8
運 輸 収 入	5,200	5,302	102	102.0
運 輸 雑 収 入 等	270	272	2	100.9
関 連 事 業 収 入	45	41	4	90.8
営 業 費 用	3,777	3,643	134	96.4
営 業 利 益	1,738	1,973	235	113.5
営 業 外 損 益	1,225	1,312	87	107.1
営 業 外 収 益	17	15	2	87.1
営 業 外 費 用	1,243	1,328	85	106.9
経 常 利 益	513	660	147	128.7
特 別 損 益	2	223	221	10,513.1
特 別 利 益	5	532	527	9,806.1
特 別 損 失	3	308	305	9,378.1
税 引 前 中 間 純 利 益	515	884	369	171.7
法人税、住民税及び事業税	343	472	129	137.6
法 人 税 等 調 整 額	128	78	49	61.2
中 間 純 利 益	300	490	190	163.3

(注)単位未満端数切捨

当期の業績予想【単体】

(単位:億円)

科 目	平成12年度 期 末 (実績)	平成13年度 期 末 (予想)	増 減	対前期比 (%)
営 業 収 益	11,048	11,080	31	100.3
営 業 利 益	3,247	3,384	136	104.2
経 常 利 益	651	695	43	106.6
当 期 純 利 益	511	443	68	86.5

(注)単位未満端数切捨

< 参考 >

中間決算参考数値【連結】

	単位	12年度中間	13年度中間	増減	12年度期末	
金融収支	億円	1,219	1,141	78	2,417	
内訳	受取利息及び受取配当金	億円	5	4	1	11
	支払利息等	億円	1,225	1,146	79	2,429
1株当たり中間純利益 (EPS)	円	13,837.39	22,849.02	9,011.63	23,643.11	
株主資本比率	%	10.1	11.6	1.5	10.6	
平均金利	%	4.96	4.89	0.07	4.93	

中間決算参考数値【単体】

	単位	12年度中間	13年度中間	増減	12年度期末	
金融収支	億円	1,197	1,119	77	2,374	
内訳	受取利息及び受取配当金	億円	7	5	1	12
	支払利息等	億円	1,204	1,125	78	2,387
1株当たり中間純利益 (EPS)	円	13,410.32	21,901.05	8,490.73	22,850.65	
株主資本比率	%	10.6	12.1	1.5	11.1	
平均金利	%	5.03	4.96	0.07	5.01	